

【「H29上半期自己評価」欄の○△×について】

- 順調 … 概ね予定どおり進捗している
- △ 遅れ … 進捗に遅れが見られる、あまり進捗していない
- × 未着手 … 着手できていない
- 評価外 … 実施対象期間前、評価できない

区分	No.	取組項目	概要（具体的な取組内容） 【採用する指標】	方針策定時の状況 (H28)	方針				H29 実績	H29 自己評価	H30 取組みの方向性	
					H29	H30	H31	H32				
I 協議体の再構築	1	理事会・評議員会の構成見直し	<p>本会の意思決定が協議会構成員の総意に基づくものになるよう、理事と評議員の出身母体を多様化します。また、社会福祉法の改正により、理事会は執行機関、評議員会は議決機関としての機能を明確にしなければならないことから、それぞれの役割に即した構成に見直します。</p> <p>【理事・評議員の出身母体数、理事会・評議員会の構成】</p>	33団体 理事・評議員会双方に人材を輩出している団体があるなど、役割分担が不明確。	40団体 理事会を執行機関、評議員会を議決機関と位置づけてそれぞれ適切な出身母体を割り当て、同一母体から理事・評議員双方に人材を受け入れるケースを解消する。	-	-	-	40団体	計画どおり実施し、項目を達成しました。	○	-
	2	会員制度の見直し	<p>市区町村社協経営指針で示されている会員制度（住民会員、構成員組織会員^(※)、賛助会員）をベースに、会員制度を見直します。また、構成員組織会員、賛助会員に相当する法人を対象に調査を行い、制度の見直しや会員の拡大に向けた企画立案に活用します。</p> <p>【見直しの実施】</p>	市区町村社協経営指針とは異なる仕組みとなっている。	見直し検討	地区部会各区代表との意見交換会	周知	新制度への移行	見直しの検討を行うため、指定都市社協・県内近隣5市社協に対し、調査を実施しました。また、各地区部会連絡会代表との意見交換会（2回実施）において、他都市の状況や今後のスケジュールについて説明しました。	計画どおり進捗しています。	○	他都市の状況等を参考に各区地区部会連絡会代表との意見交換会（4回）で意見聴取を行い、検討してまいります。
	3	会費制度の見直し	<p>会員制度の見直しに合わせて、会費制度についても見直します。</p> <p>【見直しの実施】</p>	住民会員（個人・世帯） 200円 特別会員（施設・団体） 3000円 賛助会員（企業） 10000円	見直し検討	地区部会各区代表との意見交換会	周知	新制度への移行	見直しの検討を行うため、指定都市社協・県内近隣5市社協に対し、調査を実施しました。また、各地区部会連絡会代表との意見交換会（2回実施）において、他都市の状況や今後のスケジュールについて説明しました。	計画どおり進捗しています。	○	他都市の状況等を参考に各区地区部会連絡会代表との意見交換会（4回）で意見聴取を行い、検討してまいります。
II 地区部会への支援強化	4	地区部会組織モデルの作成	<p>地区部会の情報が、それを構成する単位自治会をはじめとした地区部会内全体に伝わるよう、組織モデルを作成してNo7の地区部会シートに盛り込み、地区部会支援に活用します。</p> <p>【地区部会シートへのモデルの盛り込み】</p>	組織モデルの作成	地区部会シートへの盛り込み	-	-	-	地区部会組織の構成、自治会との連携、課題等詳細な分析を行うことができるよう、地区部会シートに盛り込みました。	計画どおり進捗しました。	○	-
	5	地区部会事業の検証	<p>複数の単位自治会を包含する広域的な地区部会エリアで取り組むべき事業と単位自治会ごとに取り組むべき事業を整理して、地区部会支援に当たっての標準的な診断要領を定め、No7の支援方針に反映させます。</p> <p>【地区部会シートへの診断要領の盛り込み】</p>	単位自治会と地区部会で 行うべき事業の 基本方針の作成	地区部会シートへの盛り込み	-	-	-	事業の特性に応じて、推奨エリア（自治会単位、小学校単位、中学校単位）を設定し、地区部会シートに盛り込みました。	計画どおり進捗しました。	○	-

社会福祉法人千葉市社会福祉協議会基盤強化方針（平成29～32年度）の平成29年度報告

区分	No.	取組項目	概要（具体的な取組内容） 【採用する指標】	方針策定時の状況 (H28)	方針				H29 実績	H29 自己評価	H30 取組みの方向性	
					H29	H30	H31	H32				
Ⅱ 地区部会への支援強化	6	地区部会データの提供	高齢者、児童、障害者、福祉施設などの福祉関連情報、避難所等の防災関係等のデータをNo7の地区部会シートに盛り込んで支援に活用するとともに、地区部会にも提供し、地区部会の取組みに対する意思決定を支援します。 【地区部会シートへの盛り込み、提供の実施】	高齢者関係のデータの提供を実施	データの提供 地区部会シートへの盛り込み	データの提供	データの提供	データの提供	高齢者のみならず、児童、障害者、福祉関連情報、防災関係等のデータを提供するため、地区部会シートに盛り込みました。	計画どおり進捗しています。	○ 地区部会シートを更新します。	
	7	地区部会シートによる支援方針の明確化	カルテに相当する「地区部会シート」を作成して、地区部会ごとの支援方針を明確化した上で、区事務所が強力に支援します。 【地区部会シートの作成】	統一的な作成はしていない	シートの作成 (No4～6の内容を盛り込む)及び公表	シートの作成・公表	シートの作成・公表	シートの作成・公表	地区部会シート作成及び公表に向けた準備を実施しました。	計画どおり進捗しています。	○ 地区部会シートを更新します。	
	8	地区部会助成金の見直し	地区部会の主体性をより引き出せるよう、助成金に提案型の仕組み(CSW ^(※) の支援を受けつつ補助事業者が提案する仕組み)を取り入れます。また、現在、助成対象を地区部会に限定している事業であっても、地区部会以外も実施主体になりうるものであれば、助成できるよう改めます。 【新助成制度の実施】	提案型の助成申請を認めていない。最終的な事業実施主体が誰かに関わらず、助成対象を一律に地区部会に限定している。	新制度施行	-	-	-	CSWの企画提案型の助成金制度「地域ふくし力アップ助成金」を新設しました。	新たな助成金を新設し、各種団体等に働きかけを行いました。申請団体は1件にとどまりました。	△ 引き続き各種団体に対し働きかけを行い、助成枠(6団体)を達成できるよう努めてまいります。	
	9	地区部会の拠点確保支援	地区部会活動の強化を図るため、拠点の候補となる社会福祉法人の地域交流スペースや、公共施設の空きスペース等の活用を支援します。 【整備方針の作成】	67地区部会のうち、活動拠点を有しているのは15地区部会。	-	活動拠点整備方針の作成	-	-	-	-	-	- 活動拠点整備方針を作成します。
	10	地区部会各区代表との意見交換会の実施	地域の課題やニーズを把握するため、地区部会各区代表との意見交換会を実施します。 【意見交換会実施回数】	未実施	4回/年	4回/年	4回/年	4回/年	4回/年	4回/年	計画どおり進捗しています。	○ 年4回実施します。
Ⅲ 実施事業の見直し	11	行政との役割分担の明確化	No12の事業シートの中に当該事業周辺における行政の活動を入れ、役割がうまく分担されているか検証します。 【事業シートの作成】	未作成	事業シートの作成・盛り込み	-	-	-	第3次(平成30～32年度)活動実施計画の策定と並行し、事業シートのフォーマットを作成しました。ただし、行政の活動は盛り込んでいません。	事業シートに行政の活動は盛り込まなかったが、シート作成過程で本会が事業に関与する意義を検証しながら取組内容をシートにまとめていった。結果的に役割の重複もなく、本会が重点的・優先的に取り組むべきことが明確になった。	- -	

社会福祉法人千葉市社会福祉協議会基盤強化方針（平成29～32年度）の平成29年度報告

区分	No.	取組項目	概要（具体的な取組内容） 【採用する指標】	方針策定時の状況 (H28)	方針				H29 実績	H29 自己評価	H30 取組みの方向性	
					H29	H30	H31	H32				
Ⅲ 実施事業の見直し	12	事業シートの作成	全ての事業について統一フォーマットによる事業シートを作成し、事業目的、目標達成指標、業績評価指標、事業スケジュールを明確にし、管理ツールとして活用します。 【事業シートの作成】	未作成	事業シート の作成・内容の精査	事業シート の公表	-	-	第3次（平成30～32年度）活動実施計画の策定と並行し、事業シートを作成しました。	計画どおり作成しました。	○ 事業シートを公表します。	
	13	事業シートの活用	事業シートを活用して、年2回（中間・期末）評価を実施します。期末の評価で一定基準を下回る事業は見直し対象とし、その結果を次年度予算に反映させます。 【評価の実施】	未実施	-	評価の実施	評価の実施	評価の実施	-	-	-	事業シートを活用して、年2回（中間・期末）評価を実施します。期末の評価で一定基準を下回る事業は見直し対象とし、その結果を次年度予算に反映させます。
	14	重点事業の設定 ①	次期地域福祉活動計画の策定にあたり、重要度、緊急度、本会の関与度及び需要の拡大余地に着目し、優先的に取組む事業を設定します。 【重点事業の設定、活動計画への反映】	未着手	実施 活動計画へ反映	実施 結果公表	-	-	第3次活動実施計画の策定と並行し、重点事業案を検証しました。	計画どおり検証し、第3次活動実施計画に重点事業として盛り込み、関係機関・団体等へ成果物を配布しました。	○	-
	15	重点事業の設定 ②	重点事業設定に当たっては、既存事業の検証だけでなく、取り組むべき事業に漏れないかも検証します。特に、子育て支援、福祉教育や地域包括ケアに関する取組みについては慎重に検証し、活動計画に反映させます。また、公益性が高い本会の特性を生かした自主事業の実施も検討します。 【検証の実施、活動計画への反映】	未着手	実施 活動計画へ反映	実施 結果公表	-	-	第3次活動実施計画の策定と並行し、重点事業案を検証しました。	計画どおり検証し、第3次活動実施計画に重点事業として盛り込み、関係機関・団体等へ成果物を配布しました。	○	-
	16	市への要望書の提出	社会福祉協議会としての活動に対し、行政への要望事項を毎年度、市の予算編成に合わせて提出します。 【提出の実施】	未実施	要望書の提出	同左	同左	同左	7月に市へ要望書を提出し、9月に回答を得ました。	計画どおり、実施しました。	○	継続して取り組みます。
Ⅳ との社会 連携福 強社 化法 人	17	社会福祉施設 連絡協議会における 会議の充実	施設と地域の連携強化を目的としたテーマを設定し、区の地区担当者などテーマに合ったメンバーを新たに入れていきます。回数も増やし、会議の充実を図ります。No18の結果を議題に取り上げ、公益的な取組みの効果的な拡大策について議論します。 【テーマとメンバーの見直し、回数】	(テーマ) 大都市会議議題 (メンバー) 施設運営者の代表 (回数) 年3回	(テーマ) 地域における公益的な取組みの促進や社会福祉法人との連携に関する テーマを追加 (メンバー) テーマに応じ区の地区担当者などを追加 (回数) 年4回	同左	同左	同左	社会福祉施設連絡協議会において、地域における公益的な取組みについて、議題を設け協議しました。	計画どおり進捗しています。	○	引き続き社会福祉施設連絡協議会を年4回開催し地域における公益的な、取組みについて議題を設け、協議します。

社会福祉法人千葉市社会福祉協議会基盤強化方針（平成29～32年度）の平成29年度報告

区分	No.	取組項目	概要（具体的な取組内容） 【採用する指標】	方針策定時の状況 (H28)	方針				H29 実績	H29 自己評価	H30 取組みの方向性
					H29	H30	H31	H32			
Ⅳ との社会 連携福 祉法人	18	社会福祉施設 連絡協議会を通じた 地域における 公益的な取組 の実施状況調査	社会福祉法人による地域における公益的 な取組の実施状況を調査し、結果を No17の会議の議題に取り上げます。 【調査の実施】	未実施	調査実施	同左	同左	同左	社会福祉施設にお ける公益的な取組を含 めた、地域との連携に ついてのアンケートを 実施しました。	計画どおり進捗してい ます。	○ 実施したアンケート もとに、社会福祉法人 による地域における公 益的な取組を支援し ます。
	19	社会福祉法人との 関係づくり	各区事務所が社会福祉法人やその施設を 訪問したり、社会福祉施設連絡協議会に参 加することを通じて、連携に向けた関係を 構築します。特に、No18の調査の結果、 公益的な取組を実施している法人に対し ては、優先的に訪問します。 【訪問済法人の割合（※）】	未実施	60%以上	100%	-	-	市全体の社会福祉法 人約73%（113/155 法人）を訪問しまし た。	計画以上に進捗しまし た。 各法人とも地域貢献の必要 性を十分理解されており、今 後、連携・協働して行くこと の必要性について共通理解を 図ることできた法人もあつた が、具体的な取組方法につ いて苦慮している法人もあり ました。	○ 残りの法人を訪問す る予定。引き続き社協 や地区部会活動などの 説明をしつつ、各法人 の地域貢献状況を把握 していき、連携協力体 制の構築に努めます。
Ⅴ 区事 務所 の強 化	20	CSW機能の充実①	地域における総合相談に応じ生活支援が 行えるよう、CSW機能の充実を図りま す。CSWの強化、育成のため、CSW会 議を実施するとともに、全職員が共有でき るようCSWマニュアルを作成します。 【会議の開催回数、CSWマニュアルの作 成】	CSW会議：不定期 マニュアル：未整備	CSW会議1回/月 CSWマニュアル の作成	CSW会議1回/月	CSW会議1回/月	CSW会議1回/月	CSW会議を月1回 実施し、CSWマニ ュアル作成しました。	CSW会議については、月1 回実施し、事例検討・ケース 共有を行いました。また、8 月より、千葉市生活自立・仕 事相談センターの職員が同会 議に参加することとし、CS Wと連携した対応を協議しま した。 また、CSWマニュアルを 作成しました。	○ 引き続き、CSW会 議を月1回開催し、本 会の他の相談部署との 連携を図ってまいりま す。
	21	CSW機能の充実②	日常生活自立支援事業の利用相談時に専 門員が行う訪問調査にCSWが同行し、同 事業のみによらない総合的な支援につな げます。 【同行の実施】	未実施	実施	実施	実施	実施	同行を要するケースが ありませんでした。	複合的な課題を持つ市民に 係る日常生活自立支援事業の 利用相談時には、既に あんしんケアセンター等を通 じて、関係機関との連携が図 られていたため、訪問調査に CSWが同行する必要がな かった。	- 日常生活自立支援事 業の新規利用に係る相 談時のみならず、現契 約者に複合的な課題を 有することが判明した 際にはCSWが同行 し、総合的な支援を 図ってまいります。
Ⅵ 人材 育成 ・確 保	22	人事考課制度 の見直し	人事考課表を改定し、職員の到達レベル をより分かりやすい形で示します。 【人事考課表の改定】	市に準拠した考課表 を用いて管理職を 対象にモデル実施 (処遇への反映なし)	考課表改定案 作成	新考課表による 考課を実施	同左 前年度考課結果の 処遇への反映	同左 前年度考課結果の 処遇への反映	他指定都市社協の考 課表を取り寄せるな ど、情報収集に努め、 本会に馴染む考課項目 や行動例を検討しまし たが、新考課表の作成 までは至りませんでした。	意図した効果がきちんと現れ るよう、処遇反映のあり方を 含めて、より慎重に検証する こととしたため、計画に遅れ が生じています。	△ 29年度の実績に加 え、職員からも多様な 意見を集め、新考課表 制定も含めたよりよい 制度運用について検討 してまいります。
	23	目標申告・育成指導 の実施	目標申告や所属長による育成指導を通じ て、目的意識の浸透を図ります。その際、 人事考課表の考課基準（No22）や事業 シート（No12）も活用します。 【対象者、面接回数】	管理職対象 年1回	全職員対象 年3回	全職員対象 年3回	全職員対象 年3回	全職員対象 年3回	全職員を対象とし、面 接も年3回実施しまし た。	計画どおり実施しまし た。	○ 計画どおり進めてい きます。

社会福祉法人千葉市社会福祉協議会基盤強化方針（平成29～32年度）の平成29年度報告

区分	No.	取組項目	概要（具体的な取組内容） 【採用する指標】	方針策定時の状況 (H28)	方針				H29 実績	H29 自己評価	H30 取組みの方向性
					H29	H30	H31	H32			
Ⅵ 人材育成・確保	24	若年層職員の採用	若年の社会福祉の専門人材の採用を進めます。退職予定者の前倒し補充により早期の採用を進めることとします。 【採用数】	新規採用なし (35歳以下の職員数2人)	31年度までに3人以上採用	31年度までに3人以上採用	31年度までに3人以上採用	-	29年4月1日付で2名の職員を採用しました。	計画どおり実施しました。	○ 30年4月1日付で2名の職員を採用します。
	25	職務分類の適正化	職名と階級が未整理であるため、適正化を図ります。 【見直しの実施】	同一階級に4職種が混在するなど職務分類が未整理	検討	実施	-	-	未着手となっています。	計画どおり進みませんでした。	× 社会福祉事業団との合併を想定した場合なども含め、多様なシミュレーションを行います。
	26	給与体系の見直し	給与体系の見直しを検討します。 【検討の実施】	市の8級制の給与表を使用しており、8級は未使用の状況	検討	検討	-	-	未着手となっています。	計画どおり進みませんでした。	× 社会福祉事業団との合併を想定した場合なども含め、多様なシミュレーションを行います。
	27	研修計画の作成	階層ごとに履修すべき研修を明示する研修計画を作成します。 【計画の作成】	未作成	検討	作成	-	-	既存の研修や新たな研修を体系化するための棚卸を行っています。	計画どおり実施しました。	○ 研修計画作成に努めます。
Ⅶ 支出削減	28	予算管理の仕組みの整備	所属長が自部門の予算を容易に管理できる仕組みを整えます。また、執行何や支出負担行為（契約締結・助成決定等）の段階で予算の執行状況を把握できる仕組みを整えとともに、資金計画に連動した予算配当を行うことにより予算執行を統制する仕組みを導入します。 【会計システムの整備】	システム上事業別の管理は行っているが、所属ごとの管理は行っておらず集計も困難。 ・システム上の執行状況把握のタイミングは、支出伝票起票時点（請求書受理時点）。 ・予算配当は資金計画と連動していない。また、計画とは異なる執行が可能となっている。	会計システムの仕様検討 経理規程の改正	新会計システムの導入	-	-	予算管理の仕組みを取り入れるべく、新たな会計システムを選定しました（経理規程の改正は不要であった）	概要に掲げた3つの仕組み全てを備えたシステムは存在していませんでしたが、最も重要である「所属長が自部門の予算を管理する仕組み」は導入しました。	○ 4月に新システムに移行します。今後は、このシステムを利用しながら所属長の予算管理意識の醸成を図り、適切な予算執行に努めます。
Ⅷ 収入確保	29	共同募金増収に向けたアクションプランの策定	共同募金増収に向けたアクションプランを策定し、計画的に取組を進めます。 【アクションプランの策定】	新たな試みも実践しているがプランに基づくものではない。	策定	-	-	-	社会福祉法人中央共同募金会主催の会議に参加し、全国的な広報の取り組み状況や、共同募金の今後の方向性について情報収集を行いました。	アクションプラン策定に向けた情報収集に留まっており、進捗していません。	△ 引き続き、中央共同募金会や他市の調査を行い、プラン策定を目指します。

社会福祉法人千葉市社会福祉協議会基盤強化方針（平成29～32年度）の平成29年度報告

区分	No.	取組項目	概要（具体的な取組内容） 【採用する指標】	方針策定時の状況 (H28)	方針				H29 実績	H29 自己評価	H30 取組みの方向性
					H29	H30	H31	H32			
Ⅷ 収入確保	30	千葉県共同募金会 と連携した事業展開	千葉県共同募金会が推進している寄附つき自動販売機による募金（ハートフルベンダー募金）の普及を、共同募金会と連携して促進します。 【設置済数】	4か所	6か所	14か所	22か所	30か所	寄附つき自動販売機の設置について、企業等に働きかけを行ったが、実績には至っていません。	企業訪問等を実施し、自動販売機設置の普及を目指しましたが、事務を進めることができませんでした。	△ 社協HPへの掲載や、引き続き、市内福祉施設、企業等へ協力依頼を行います。
	31	共同募金の使途 に関する広報の充実	募金が使われたことにより、まちがどう変化したのか、ホームページで具体的・ビジュアルに紹介します。 【掲載の実施】	未実施	実施	実施	実施	実施	社会福祉法人中央共同募金会主催の会議に参加し、全国的な運動の取り組み状況や、共同募金の今後の方向性について情報収集を行いました。	情報収集に留まっています。	× 助成団体へのインタビューなどを通して、募金がどの様に活かされているかなど、市民に分かりやすく伝えていきます。
	32	同募金の配分方針 の明確化	配分要綱を策定して配分方針を明確にします。 【要綱策定】	要綱なし	要綱策定	-	-	-	社会福祉法人中央共同募金会主催の会議に参加し、配分委員会等の取り組み状況や、共同募金の今後の方向性について情報収集を行いました。	情報収集に留まり、要綱策定に至っていません。	× 千葉県共同募金会他、県内の配分状況などを引き続き調査し、配分要綱を策定を目指します。
	33	基金運営委員会の 整備	運営委員会未設置の基金について、運営委員会を設置します。 【委員会未設置基金数】	2	0	0	0	0	1基金について運営委員会を設置しました。なお、未設置の基金数は1となっています。	1基金について運営委員会を設置しました。	△ 残り1基金について、運営委員会設置を目指します。
	34	受託事業から の収益確保	精算・返納している受託収入のうち、委託者に返納すべき部分と受託者の努力による部分を明確化し、後者については本会の収益とするよう委託者に働きかけます。 【協議の実施】	指定管理事業を除き、受託事業はすべて清算・返納している。	協議実施	同左	同左	同左	受託事業にかかる剰余金の取り扱い基準の策定について、市へ要望書を提出しました。一部事業において市との協議の結果、受託料の精算・返納を行わないこととなりました。	一部事業で前進は見られるものの、大口受託契約である放課後児童健全育成事業について、市との協議が1度行われたのみで大きな進展はなかった。	△ 協議中の事業においては引き続き協議を実施し、放課後児童健全育成事業においては協議継続を市に働きかけます。
	35	助成制度の活用	調査研究等に係る外部の助成制度の情報を集約して内部共有を図り、活用を促進します。 【共有の場とする会議の数（種類）】	0	3	3	3	3	管理職の月例会議において5件の情報提供を、また地域支援の担当者会議の場において、地域の基盤強化を図る助成制度の提供を1件行いました。	2種類の会議で情報提供を行い、地区部会からの助成団体へ申請する事例がありました。	△ 計画どおり実施します。

社会福祉法人千葉市社会福祉協議会基盤強化方針（平成29～32年度）の平成29年度報告

区分	No.	取組項目	概要（具体的な取組内容） 【採用する指標】	方針策定時の状況 (H28)	方針				H29 実績	H29 自己評価		H30 取組みの方向性
					H29	H30	H31	H32				
IX 資金管理の強化	36	受託金収入の概算払い化	受託事業の支払条件を精算払い（事後収入）から概算払い（事前収入）に変更するよう委託者に働きかけます。 【精算払い事業数】	2	0	0	0	0	委託者と協議し、1事業の概算払い化は実現したものの、残る1事業は精算払いのままとなっています。	計画の50%を達成しました。	△	残り1事業について、引き続き概算払い化を要望します。
	37	短期資金計画の策定	法人全体の1年間の資金計画を策定します。 【策定の実施】	未実施	実施	実施	実施	実施	平成29年度予算において短期資金計画を作成しました。	計画どおり実施し、項目を達成しました。	○	平成30年度予算においては、平成29年度状況を踏まえた短期資金計画を作成しました。
	38	財源入りの活動計画の策定	3年ごとに策定している活動計画は、財源を入れて策定します。 【財源を入れた策定の実施】	未実施	実施 (平成30～32年度活動計画)	-	-	実施 (平成33～35年度活動計画)	第3次（平成30～32年度）活動実施計画において財源を入れて策定しました。	計画どおり実施しました。	○	-
	39	経営企画会議の開催	管理者層を対象とした内部会議で四半期ごとに議題とし、経営状況の共有を図ります。 【会議の開催回数】	未実施	年4回	年4回	年4回	年4回	年3回内部会議において決算や期中の進捗状況などをテーマに管理者層による討議を行いました。	当初の予定どおりではありませんでしたが、実施しました。	△	計画どおり実施します。